

日本学術会議  
フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会  
持続可能な発展のための教育と人材育成の推進分科会(第25期・第2回)  
議事要旨

日時 令和3年6月15日(火)15:00～17:00

会場 ビデオ会議にて開催

出席 窪川かおる、鈴木康弘、谷口真人、日置光久、氷見山幸夫、福士謙介、山形俊男、山口しのぶ、小田宏信、小金澤孝昭、小林亮、丹羽淑博、薦田有紀子・小山堯・藤井智宏(事務局)

資料:

資料 1: 第 25 期第 2 回持続可能な発展のための教育と人材育成の推進分科会議事要旨

資料 2: 分科会委員名簿

資料 3: ESD/SDGs カリキュラム小委員会設置提案書

資料 4: ESD/SDGs カリキュラム小委員会委員名簿

資料 5: 海の学びカリキュラム小委員会設置提案書

資料 6: 海の学びカリキュラム小委員会名簿

議題

1) 幹事の追加選任について

- ・氷見山委員長より、幹事に丹羽委員を追加で指名したい旨の提案があり、これを承認した。

2) 小委員会の発足について

- ・資料 3,4 に基づき、ESD/SDGs カリキュラム小委員会の目的と委員構成について、小金澤委員より説明をおこなった。
- ・資料 5,6 に基づき、海の学びカリキュラム小委員会の目的と委員構成について、日置委員より説明をおこなった。
- ・両小委員会について、それぞれ小金澤委員、日置委員が世話役となって第 1 回小委員会を開催して委員長、副委員長、幹事を選出した後、発足させることとした。小委員会の委員の補充は、幹事会に諮った上で行うことを確認した。事務局より、休日に小委員会を開催する場合もオンライン会議用 URL を発行できるようになった旨の説明があった。

3) 分科会委員の補充について

- ・分科会委員の補充について協議を行い、春日文子氏(連携会員)に委員就任の打診を行うことを決めた。

#### 4) 分科会に関する国際的・国内的動向

- 130 以上の大学が加入する「カーボン・ニュートラル達成に貢献する大学等コアリッション」の設立大会が本年夏に開催される。人材育成 WG が設置され、本分科会ともリンクする可能性がある。
- フューチャー・アース主催 SRI2021 会議(Sustainability Research & Innovation Congress 2021)が 6 月 12 日-15 日に開催された。各国の大学院生を中心に若者のボランティア参加が本格的に進められている。TSL(Trust for Sustainable Living)のセッションでは小・中学生も議論に参加。
- ユネスコ ESD 国際会議が 5 月 17 日-19 日にベルリンにてオンライン開催された。ESD for 2030 へのキックオフミーティング。日本から文部科学大臣が登壇。及川幸彦氏 (ESD/SDG<sub>s</sub>カリキュラム小委員会委員)が気仙沼市の事例発表をおこなった。ESD ベルリン宣言が採択される(文科省・日本ユネスコ国内委員会 HP に翻訳記載)。
- ユネスコ ESD&GCE(地球市民性教育)フォーラム 2021 が 9 月に韓国にてオンライン開催される。
- ESD と GCE を合わせたユネスコの新しいイニシアティブ”Futures of Education”の国際委員会(議長はエチオピア大統領)が立ち上がった。
- 国連大学・環境省主催のオンラインセミナー”Synergising ESD for 2030 Stakeholders Dialogue – Learn for our Planet, Act for Sustainability”が 7 月 1 日に開催される。
- 成蹊大学サステナビリティ教育研究センターにてオンラインセミナーを定期的で開催中。HP で告知を行っている。

#### 5) シンポジウムの開催について

- ESD/SDG<sub>s</sub>カリキュラム小委員会、海の学びカリキュラム小委員会それぞれが主導して年1回のペースでシンポジウムを開催する予定。時期は未定。小委員会でオンラインセミナーを定期的に行い、その活動のまとめとしてシンポジウムを開催する。
- 分科会が主導して学術フォーラムの開催をめざす。開催時期は1年後ぐらいを目途とする。学校教員、児童生徒の参加を考えると、土・日か夏季休暇期間が望ましい。
- 9月と12月に分科会を開催する。
- 9月の分科会は 9 月 12 日(日)15 時~17 時にオンラインで開催することを決めた。非公開形式でフューチャー・アースについて勉強会を行う。
- 12月の分科会は公開形式にして小委員会の成果発表を行う予定。日時は未定。